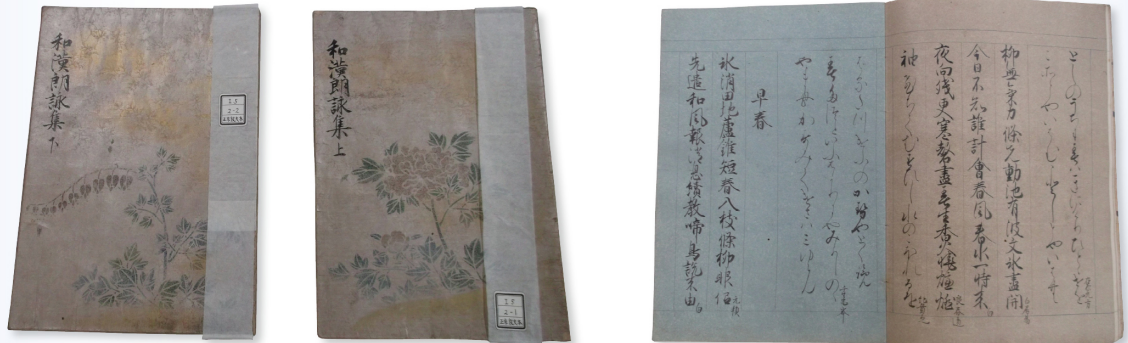


『池田光政筆『和漢朗詠集』』



函架番号 I-5。写本 2 卷 2 冊。縦 24.2cm × 横 16.7cm。列帖装。上巻 56 丁、下巻 60 丁。1 面 6 行。料紙は上製色紙。装飾表紙。外題（直書）「和漢朗詠集 上（下）」。内題「和漢朗詠集 上（下）」。蔵書印「正宗敦夫文庫」（各巻首）。神田道伴の極札がある。箱書（蓋の表部に貼付け）に「新太郎少将光政公筆 和漢朗詠集 全貳冊 神田道伴外題極札」。また、正宗敦夫による箱書（蓋の裏部に直書）「（表部の記載を引いて）右此箱の表に張紙にて記せる處也 摩滅せんとせればこゝに写しおくものなり 昭和卅一年五月 正宗敦夫記」がある。

岡山藩主初代・池田光政自筆の『和漢朗詠集』。大名の遺品らしく、装丁は大変豪華。和歌部分と漢詩部分の罫線には引き方の違いがある。1 首 2 行書

きの和歌ではその間に罫線はない。一方、漢詩はすべて行ごとに罫線がある。これは制作に携わる者が『和漢朗詠集』の和歌と漢詩をすべて数えてから、引いたものである。

光政筆の和歌資料は、本学また林原美術館、曹源寺（池田家菩提寺）、坊間に散在する。特に林原美術館には膨大な分量が残されている。筆跡の調査が進めば、今まで伝承筆者として考えられていたものも、自筆と判明し得るだろう。

参考文献：原豊二「池田光政と「抜書」—『風葉和歌集』『拾遺百番歌合』をめぐる—」『ノートルダム清心女子大学紀要 日本語・日本文学科編』40 巻 1 号、2016

（文学部日本語日本文学科 准教授 原 豊二）